

# 持続可能な地域づくりと人づくりを推進する ESD活動支援センター

ESD活動支援センター 副センター長

加藤超大



**ESD活動支援センター**

Education for Sustainable Development

# ESD活動支援センター

ユネスコ世界会議の成果と「国連ESDの10年」で広がったESD実践者の提案を踏まえ、文部科学省及び環境省の共同事業として2016年に設置された官民協働のプラットフォーム。全国8箇所の地方センター及び地域ESD拠点、全国規模の協力組織・団体とともにESD推進ネットワークを形成し、連携してESDを支援しています。

4つの「はたらき」

## ① 情報の収集・発信

研修、教材、アワード、政策、助成金等の情報をウェブサイト、SNS等で提供しています。また、メールや電話等による相談にも応じています。

## ② 支援体制の整備

地方センターと連携し、地域の実践者のニーズに沿った支援プログラムの検討を行います。また、地域ESD拠点の形成・活動を支援します。

## ③ 学び合いの促進

ネットワークを育み、互いに学び合う場として「全国フォーラム」を開催します。

## ④ 人材の育成

実践者やコーディネーター、指導者の育成と、活動の場づくりに取り組みます。また、ユースのキャパシティ・ビルディングを支援します。

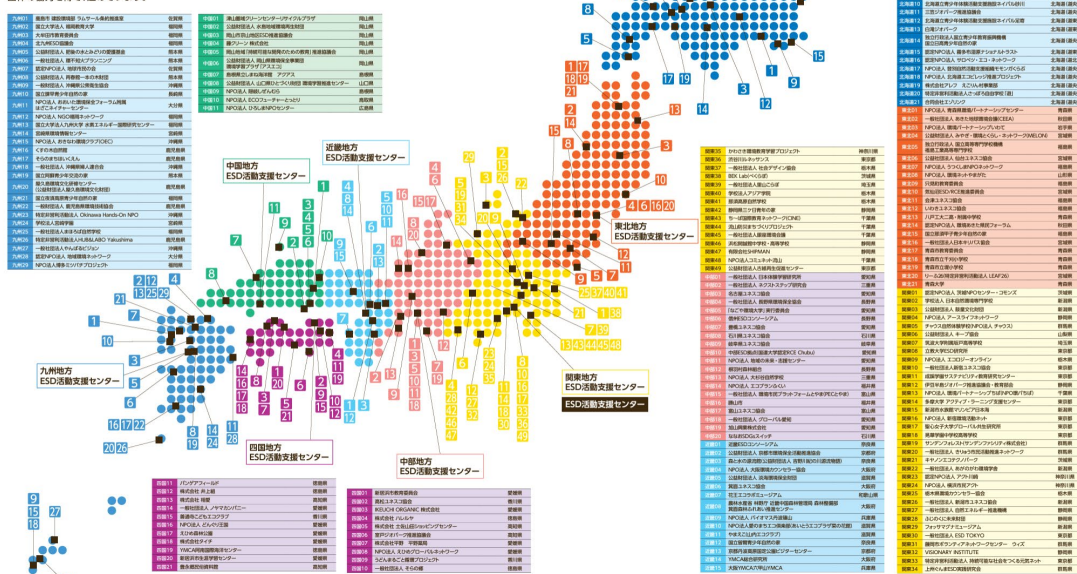
# 地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)

地域・社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいる学校や社会教育現場の様々な主体に対して地域におけるESD活動の支援窓口としての役割を担っていただく地域ESD拠点の登録を、ESD活動を実践・推進・支援している組織・団体の協力を得て、進めています。登録は、2017年11月に開始され、2026年1月末現在、教育委員会、社会教育機関、学術研究機関、企業、NGO／NPO、公益法人等多様なセクターから全ての都道府県で合計216団体が登録されています。

## 地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)

地域・社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいる学校や社会教育現場の様々な主体に対して地域におけるESD活動の支援窓口としての役割を担っていただく地域ESD拠点の登録を、ESD活動を実践・推進・支援している組織・団体の協力を得て、進めています。

登録は、2017年11月に開始され、2024年2月末現在、教育委員会、社会教育機関、学術研究機関、企業、NGO／NPO、公益法人等多様なセクターから全ての都道府県で合計187団体が登録されています。



## 地域ESD活動推進拠点 Education for Sustainable Development

## ESD推進ネットワーク概念図

持続可能な社会を目指して

持続可能な開発目標(SDGs)



学校、地域、職場などで  
ESDに取り組んでいる多様な実践主体  
(ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている  
多様な主体(潜在的な活動主体)

ニーズ・成果共有

ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援  
多数、多様、重層的な  
地域ESD活動推進拠点  
(地域ESD拠点)

ESD活動推進センター  
地方センター(全国8か所)  
+  
全国センター

協力団体  
ESD推進に取り組む組織・団体と  
協力・連携します。

# ESD推進ネットワーク全国フォーラム

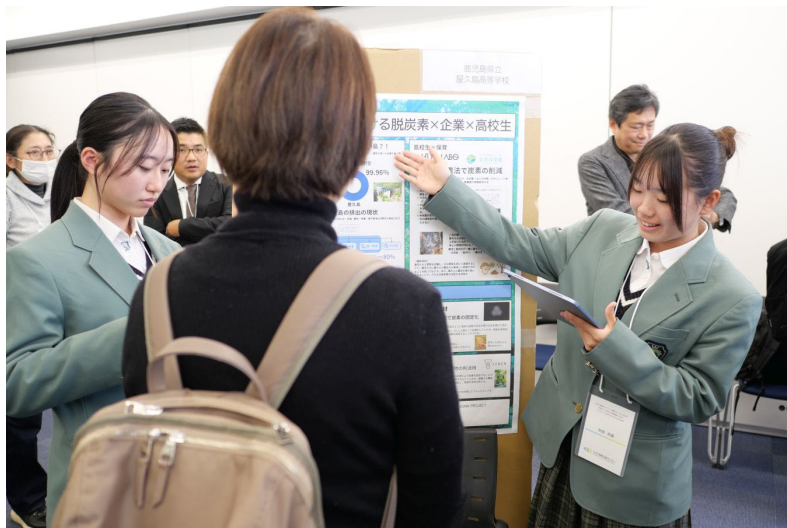
ESDに関心をもつ多様な主体が一堂に会し、国内外における最新動向やネットワーク形成の状況を共有するとともに、全国各地の実践事例を学び合うことを目的として、毎年1回開催しています。

日時: 2025年12月7日(日)10時~16時@立教大学

参加人数: 256名(うちオンライン視聴申込者79名)

プログラム:

- ①基調報告(環境省及び文部科学省)
- ②環境教育・ESD実践動画100選認定書授与式
- ③ポスターセッション
- ③基調講演(佐藤真久氏(東京都市大学大学院環境情報学研究科研究教授/学長補佐))
- ④子ども・ユースからの報告及び感想の共有



# ESD for 2030 学びあいプロジェクト①

第2期ESD国内実施計画に位置付けられた「テーマ別の学びあいの仕組み」である「ESD for 2030学びあいプロジェクト」。各地方センターが気候変動を切り口としてテーマを設定、活動を展開しています。



## 北海道センター：札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト

前年度の動物園におけるESDの可能性についての検討結果をもとに、展示動物を入り口とする生息地の変化と気候変動や私たちの生活との関わりなどを考える対話型のプログラムを試行的に複数回実施し、関係者・参加者から高い評価を得ました。今後は継続的な取組や他園館への展開へ向け、企業や団体との協働による実施体制の構築を目指します。



## 東北センター：市民施設における気候変動教育

宮城県仙台市の市民センター（公民館）を対象に、市民施設での気候変動教育の可能性を探るプログラムを展開しました。気候変動を切り口とした市民講座の企画のコツについて関係者の学びを深め、実際の企画・講座実施を通じて、既存講座との関連性を感じ、気候変動教育への理解が深まりました。



## 関東センター：気候変動じぶんごと化プロジェクト

気候変動による水害への対応策として、自立型発電に着目して2カ所の地域ESD拠点と連携しました。（一社）自然エネルギー推進機構とは、神奈川県立山北高校2年生を対象に、山が多い地域特性と小水力発電による避難所への給電を学びました。（一社）銀座環境会議とは、千葉県柏市内の障がい者通所施設の太陽光発電を題材に再生可能エネルギーへの理解を深めました。

# ESD for 2030 学びあいプロジェクト②

第2期ESD国内実施計画に位置付けられた「テーマ別の学びあいの仕組み」である「ESD for 2030学びあいプロジェクト」。各地方センターが気候変動を切り口としてテーマを設定、活動を展開しています。



## 中部センター：SDGsワークショップ「学び合いの場の作り方」

昨年度作成した「ESD学び合いの場づくりワークブック」を有効に活用するため、セミナーなどの「学び合いの場」を企画するワークショップを試行的に開催しました。学園祭のSDGsブースを企画する学生、デコ活の普及啓発を担当する関係者、市民教育の企画を考える自治体職員などを対象とし、試行結果を踏まえてワークショップパッケージを作成しています。



## 近畿センター：学校と地域の連携に必要なことは？

教員や教育委員会、自治体環境部局を対象に、気候変動を切り口とした学校と地域の連携事例について学び合い、来年度以降の活動計画案を作成しました。取組の事例紹介をきっかけに現場の状況を踏まえた意見交換では、学校と地域の両者にとってWin-Winの関係を構築することが重要といった具体的なポイントを抽出することができました。



## 中国センター：脱炭素ロードブックの継続・水平展開

昨年度に鳥取県北栄町で実施した脱炭素ロードブック制作プロジェクトの成果物(冊子)を活用した継続展開として、「ほくえい未来トーク2024」を共催して、脱炭素地域づくりの担い手育成や再エネ・省エネの推進に役立てました。また、これらのノウハウを中国地方に水平展開するために、島根県・岡山県・山口県の関係機関と意見交換を行いました。

# ESD for 2030 学びあいプロジェクト③

第2期ESD国内実施計画に位置付けられた「テーマ別の学びあいの仕組み」である「ESD for 2030学びあいプロジェクト」。各地方センターが気候変動を切り口としてテーマを設定、活動を展開しています。

## 四国センター：四国ESDバーチャル大学

地域イベントや環境白書、ジオパークなどの様々な切り口からESDに触れる機会を提供し、意見交換を通して行動変容、社会変容につながるアイデアを共有することができました。多様な主体との連携によって、様々な分野の学びを気候変動教育と結びつけ、それぞれの特色を生かした気候変動教育、ESDプログラムづくりの素地が作られました。

## 九州センター：気候変動教育推進に向けた環境学習施設ネットワーク形成

持続可能な社会づくりにつながる基本的な学びの場である公設型の環境学習施設をネットワーク化することで、気候変動教育の推進を目指しました。施設職員による教材活用研修(@タカミヤ環境ミュージアム)や地域企業の巻き込み、専門家との連携形成に向けた意見交換(@かごしま環境未来館)を通して、ウェルビーイングにつながる気候変動教育に向けた相互参照が進展しました。



# 高校における気候変動に関する探究学習実証事業

高校と地域に根ざした企業が連携する探究学習プログラムの作成および実証を通じて、教職員の負担軽減と、学習者の行動変容につながる質の高い環境教育の実現を目指しました。2025年度は、全国3カ所において実証事業を実施するとともに、今後の普及展開を見据えたガイドラインの作成を進めました。

## 事業目標

- 高校と地域に根ざした企業が連携した、探究学習プログラムの作成・実証を通して、**教職員の負担軽減と質の高い**(学習者の行動変容につながる)**環境教育**を目指す。
- 地域特性に応じた実践的な学びを通じて、気候変動対策の「自分事化」を図り、環境意識が低い日本において気候変動対策を加速させる。
- 企業や地域の産業・文化・社会活動と高校をつなげ、協働することで「**学び続ける人づくり**」を地域で展開する。

## ポイント

- 小・中学校までの学びを踏まえ、環境・経済・社会を統合した総合的な気候変動に関する教育を体系的に習得できる環境を整える。
- 地域課題を踏まえた「課題」の設定に当たって、「気候変動」と関連させる。

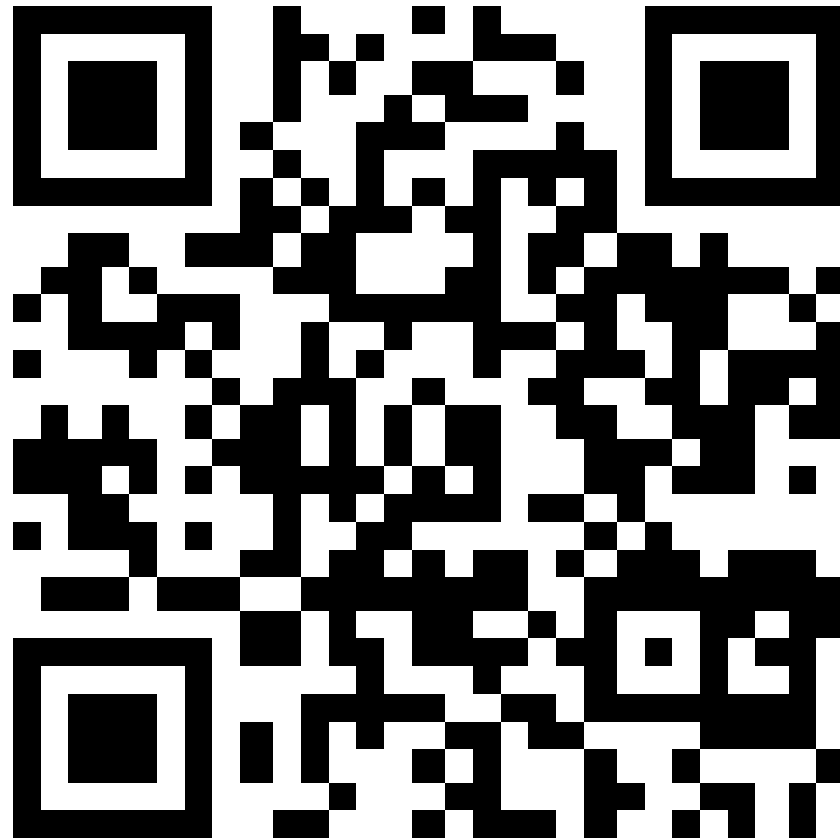
## 実証先及び連携企業、地域ESD拠点等

- ・東京立正高等学校 × 近畿日本ツーリスト株式会社 × (公社)日本環境教育フォーラム
- ・京都先端科学大学附属高等学校 × 株式会社セブン-イレブン・ジャパン × (公財)京都市環境保全活動推進協会 × 奈良教育大学
- ・鹿児島県立屋久島高等学校 × JINEN株式会社、ぷかり堂 × (NPO)HUB&LABO Yakushima

# ESD活動支援センターの活用例

- 環境問題をテーマとしたプログラムや探究学習の内容・構成に関する相談の受付や実践支援
- 環境分野に取り組む企業やNPO等の外部講師の紹介
- 成果発表や多様な立場・世代の人たちとの学び合いの機会の確保
- 環境教育、ESDに関する研修や教材等の紹介
- イベントや研修などの情報発信サポート

ご視聴いただき、ありがとうございました！



ESD活動支援センター ウェブサイト